

思春期に顔症状が始まった成人アトピーの経過（20 歳男性）

症例 ID：001-20-AkT | 記録日：不明

1. 診断・治療前経過

高校2年生の春頃、顔の頬と顎のあたりにカサカサした症状が出ました。近所の皮膚科では、季節の変わり目や思春期の影響ではないかと説明され、少量のステロイドが入った薬を1日1回寝る前に塗るよう指示されました。

薬を塗ると翌日はましになり、数日で治ったように見えたのですが、しばらくすると同じ症状が再び出ました。ステロイドを使い続けることへの不安から別の病院にも行きましたが、理由の分からない薬を出されたため通院をやめました。その後、松本医院を受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	顔の頬と顎の症状に、少量のステロイドが入った外用薬を使用した経過があります。
製品名	不明。
強度	少量のステロイド入りと説明されていますが、具体的な強度区分は不明です。
使用期間	高校2年生の春頃から、断続的に使用していました。具体的な期間は不明です。
中止時期	ステロイドを使い続けることが不安になり、使用継続を避ける方向になりました。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
高校2年生春頃	来院前	頬と顎のあたりにカサカサした症状が出ました。
皮膚科受診後	来院前	少量のステロイド入り外用薬を使用すると、翌日は症状がましになり、数日で治ったように見えたのですが、しばらくして再発しました。
別病院受診後	来院前	理由の分からない薬を出されたため通院をやめました。
松本医院受診	治療開始	アトピーとされ、ステロイド治療への不安や、今後の治療について説明を受けました。漢方薬を飲み始めました。
治療開始後	経過中	漢方の外用薬、消毒などを続けるうちに症状が良くなってきました。
経過後半	到達点	手の症状はなくなり、顔もかなりきれいになり、かゆみもなくなりました。

4. ピーク時期

ピークの具体的な時期や浸出液の有無は不明です。顔の頬と顎の症状から始まり、治療開始後に手や顔の症状が改善していく経過です。

5. 患者さん・家族の困りごと

- ・思春期に顔に症状が出たことで、見た目への不安がありました。
- ・薬を使うと一時的に目立たなくなるものの、再発を繰り返しました。
- ・ステロイド入り外用薬を使い続けることへの不安がありました。

6. 経過のまとめ

治療開始後、漢方外用薬や消毒などを続けるうちに、手の症状はなくなり、顔もかなりきれいになり、かゆみもなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。